

# 令和6年度 松戸市立小金中学校 学習の指針(シラバス)

教科	美術	学年	1年
----	----	----	----

## 1 学習の目的

- 造形的な視点を理解し、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
- 豊かに発想し構想を練り、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げる。
- 楽しく美術の活動に取り組み、心豊かな生活を創造していく姿勢を持つ。

## 2 学習計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	学びの地図(オリエンテーション) 見ることからの発見(絵) 伊藤若冲の世界(鑑賞) デザインで学ぶこと(デザイン) 「あったらいいな」を形に(鑑賞)	図画工作から美術へのつながりを知る。 身近なものに関心をもち、表現することを楽しむ。 作品の造形的な特徴を理解し、若冲の作風をとらえる。 生活の中にあるデザインについてその機能や効果を考え、校内の様々な案内表示を考える。 デザイナーの言葉をもとに表現の意図や工夫を考える。
2 学期	よみがえる材料(彫刻) 形と色彩のメッセージ(デザイン) 木を暮らしに生かす(工芸) 祭りの造形(鑑賞)	材料の特徴を理解し、組み合わせ方を考えて表す。 形、色彩、ロゴマーク、文字の効果を利用し校内表示をつくる。 身近で使えるものを考え、木で美しく機能的につくる。 伝統行事に生きる造形とそれを支える技術を理解する。
3 学期	写し取る形(絵) 焼き物をつくる(工芸) 私にとってつくること(鑑賞)	版で表すことに関心をもち、版表現を楽しむ。 土の特徴から発想し、生活を楽しくする作品を考え、つくる。 それぞれの作家の意図や表現の工夫について考える。

## 3 評価

項目	評価の内容	評価の方法
知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。	ワークシート、作品、自己評価表、観察
思考・判断・表現	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができる。	
主体的に学習に取り組む態度	楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心を培い、心豊かな生活を創造していくことができる。	

## 4 「確かな学力」のためのアドバイス

1. 美術科の学習について…毎時間の目標を確認し、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組む。
2. 授業のきまり…授業準備を整えて参加する。自他の作品や物は大切に扱う。後片付けまで誠実に。
3. 授業で使う道具…鉛筆(H、HB、2B、4B)、クロッキー帳、水彩色鉛筆、水彩絵の具、タブレット等。
4. 授業中の少人数学習…題材によって3人から4人のグループで行うことあり。
5. 家庭学習…好きなアニメを模写したり、身近なものを5～10分位でスケッチしたり、気軽に描く習慣を身につけよう。可能であれば美術館などで、本物の作品を鑑賞し、鑑賞ノートに記録していこう。